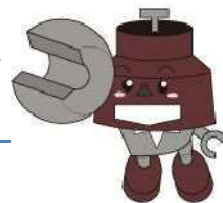


# 川口市保育マニュアル

---



保育編

川口市マスコット  
「きゅぼらん」

平成29年8月1日  
令和2年12月1日(一部改正)

---

---

# 目次

---

はじめに	1 ページ
保育を始める前に	2 ページ
1 保育の計画と評価	
(1) 全体的な計画	2 ページ
(2) 指導計画	2 ページ
(3) 指導計画の種類	3 ページ
(4) 自己評価	3 ページ
2 保育の記録	3 ページ
3 保育の内容	
(1) 子どもの発達過程	
① おおむね6か月未満	4 ページ
② おおむね6か月から1歳3か月未満	5 ページ
③ おおむね1歳3か月から2歳未満	5 ページ
④ おおむね2歳	5 ページ
⑤ おおむね3歳	6 ページ
⑥ おおむね4歳	6 ページ
⑦ おおむね5歳	6 ページ
(2) 一日の流れ(デイリープログラム)	
① 0歳児	7 ページ
② 1・2歳児	8 ページ
③ 3～5歳児	9 ページ
(3) 生活と遊び	
① 遊び	10 ページ
② 散歩	11 ページ
③ 水遊び・プール遊び	12 ページ
(4) 午睡	13 ページ
(5) 食育	14 ページ
(6) 健康	15 ページ
(7) 安全	16 ページ
4 保護者支援・地域子育て支援	17 ページ
5 職員の資質向上	18 ページ
参考書籍等	18 ページ

## はじめに

子どもを保育することは、子どもの命を預かることと同様で、極めて責任の重い仕事であると同時に、保護者ととも未来を担う子どもたちの成長を育む、非常にやりがいのある仕事です。

川口市では、安全・安心な保育の実現を目指しており、その実現には、認可外保育施設の皆様の協力が不可欠であります。

このたび、保育をするにあたり、必要なことや、注意しなければならないことをまとめた保育マニュアルを作成いたしました。本マニュアルは、日々の保育のあり方を中心に示した保育編となっております。未来を担う子どもたちが笑顔で健やかに過ごせるよう、本マニュアルをご活用いただき、安全・安心な保育の実現にご協力をお願いいたします。

川口市子ども部保育入所課



## 保育を始める前に

保育施設は、保育所保育指針に基づいた保育をすることが求められます。保育所保育指針をいつでも確認できるよう、施設内に置いておきましょう。1度目を通したら終わりではなく、何度も目を通し、内容をしっかり把握して保育することが大切です。

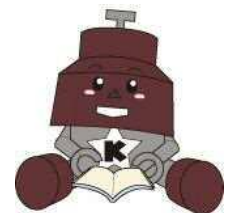
### 1 保育の計画と評価

保育所保育指針には、各施設における保育理念や保育目標のもと「保育の計画」を立てそれに基づく保育を展開し、日々の保育を振り返り評価し、明日の保育に反映させることを繰り返すことで保育の質の向上につながるとされています。

施設ごとに独自の目標(全体的な計画・指導計画)を立て、子ども一人一人の成長・発達を十分に踏まえ、きめ細かく相互応答的に関わるのが重要です。保護者が安心して預けられ、子どもたちが楽しく過ごすことが出来る安全・安心な保育を実施しましょう。

#### (1)全体的な計画

全体的な計画とは、各保育施設の保育方針や目標に基づいて子どもの発達過程を踏まえ、保育の内容及びねらいを示したものです。全体的な計画は、保育施設における生活全体を通して総合的に展開されるよう、また、保育施設の特徴をいかし、子ども達の育ちに関する長期的な見通しをもって編成しましょう。〈参考書式1〉



#### (2)指導計画

指導計画とは、乳幼児がいきいきと生活し、よりよく成長していくためには「どの時期に」「どのような活動をしたらよいか」を示したものです。年齢ごとの発達過程から、『年間』の保育目標(育ちのめやす)を作成し、季節や行事などを考慮して『月』『週』『日』と連動して作成します。

#### (3)指導計画の種類

年間計画：4月～翌年3月までの一年間の生活を見通して立てる指導案〈参考書式2～3〉

月案：年間計画を具体化するために、一ヶ月の生活を見通して立てる指導案〈参考書式4～9〉

週案：月案実施のために、継続性を考えながら一週間を見通して立てる指導案〈参考書式10～11〉

日案：その日の保育をどのように展開するのか、一日の子どもたちの生活時間を見通して細かく立てる指導案

デイリープログラム：一日の保育の流れを表したもの〈参考書式12〉

## (4)自己評価

自己評価とは、指導計画に基づいて行われた保育の過程・実践を振り返り、反省・評価をすることです。保育施設として、保育者個人として自己を評価することが、保育の質の向上につながります。自己評価を実施し、保育の質の向上を図りましょう。

## 2 保育の記録

次の保育につなげるために、保育の計画を踏まえて保育が適切にすすめられているかどうか、保育の経過や結果を記録しましょう。記録することは、実践したことを自分の中で客観化する第一歩です。保育の記録には以下のものなどがあります。

保育日誌：日付、天候、気温、児童出欠席数、感染症発生状況、保育活動の内容(散歩、折り紙等)を記録したもの

児童票：入園から卒園までの一人一人の子どもの家庭状況及び保育経過(成長過程)、健康に関すること(健康診断等)を記録したもの

児童出席簿：当日の出席状況を記録したもの<参考書式13>

職員会議録：職員会議の内容を記録したもの

苦情・相談等の記録：保護者等からの苦情・相談の内容やその対応について記録したもの



### 3 保育の内容

保育は、子どもの発達過程を考慮しながら実施することが必要です。保育所保育指針に示された発達過程は(1)のとおりです。各年齢の発達過程を理解した上で保育にあたきましょう。

また、年齢に応じた一日の保育の流れや各場面の注意点等を(2)に示しました。今後の保育の参考にしてください。



#### (1)子どもの発達過程

子どもの発達過程は、大きく分けて以下のとおり区分されます。この基準は、子どもの均一的な発達の基準ではなく、一人一人の発達過程としてとらえるべきものです。保育を実施するにあたっては、子ども自身の力を十分に認め一人一人の成長発達を理解した上で適切な援助及び環境構成を行う事が重要です。それぞれの年齢における発達の目安として理解しましょう。

##### ①おおむね6か月未満

- 首がすわり、寝返り、腹ばいができるようになる。
- 手足の活動が活発になり、手に触れた物を握ったり、前の方にある物をつかもうとする。
- 快、不快を笑ったり泣いたりして、表情の変化や体の動きで表現できるようになる。
- 身近な大人にあやしてもらおうと、顔をじっと見たり声を出して笑ったりする。
- 機嫌の良いときに、「あー」「うー」といった喃語を発する。

##### ～援助のポイント～

- ・ 一日を安全に過ごすために登園時は、「検温・睡眠時間・食事(ミルク)・体調」など家庭での様子を確認する事が大切です。
- ・ 月齢によって生活リズムは異なります。排泄や授乳の間隔、眠るタイミングや睡眠時間も違います。個別に対応できるようにしましょう。
- ・ 授乳は、ゆったりとした気持ちで目を合わせながら、一人一人の飲む速度に合わせて、落ち着いて飲めるようにしましょう。
- ・ 大人との信頼関係を築いていく大切な時期です。泣いたら抱っこしたり、視線を合わせたり、微笑みかけたり、語りかけたりする等ふれあいを十分にとりながら、心身共に快適な状態がつかれるようにしましょう。

## ②おおむね6か月から1歳3か月未満

- 座る、はう、立つ、両手にもものを持つ、引っ張るなどができる。
- 手に取ったものを舐めたり、口の中に入れてしまう。
- あやしてもらおうと喜んだり、大人とのやりとりが盛んになる。
- 後追いや、人見知りをするようになる。
- 自分の思いを、指さしや身ぶりで伝えようとする。
- 離乳食から徐々に幼児食に移行する。

### ～援助のポイント～

- ・はじめは、おすわりやつかまり立ちなどがしっかりできません。転倒に注意しましょう。
- ・直径39<sup>ミリ</sup>奥行き51<sup>ミリ</sup>以内のものは、飲み込んで窒息する可能性があるので、手の届くところには置かないようにしましょう。トイレットペーパーの芯の直径(約39<sup>ミリ</sup>)がめやすになります。

## ③おおむね1歳3か月から2歳未満

- 歩く、押す、つまむ、めくるなど運動機能が発達する。
- 指差しや片言で思いを伝えたり、二語文を話し始める。
- 上手に話すことができるまでは、かんしゃくをおこすことがある。
- 大人の言うことが分かるようになる。
- 離乳が完了し、スプーンやフォークを使って食べる。

### ～援助のポイント～

活発に動くようになり危険がいっぱいです。ひきだし、コンセント、家具の隙間、ドア・扉などの危険箇所をチェックし、安全対策(コーナークッション、コンセントカバー、ゲート、指はさみ防止など)をしましょう。

## ④おおむね2歳

- 歩く、走る、跳ぶなどの動きが活発になる。
- 指先の機能が発達して、食事、衣類の着脱など自分でしようとする。
- トイレで排泄できるようになる。
- 言葉で自分の思いを伝えようとする。
- 自己主張が強くなりトラブルになることがある。
- 大人と一緒に簡単なごっこ遊びを楽しめるようになる。

### ～援助のポイント～

「いや」「だめ」は自立へのメッセージです。気持ちを大切に受け止めましょう。

### ⑤おおむね3歳

- 食事、排泄、衣類の着脱など自分でできるようになると共に大人に手助けされることを嫌がる時期でもある。
- 話し言葉の基礎ができて「なんで」、「どうして」と質問するなど、さまざまなことに興味を持つようになる。
- 走る、跳ぶ、投げる、蹴るなど体の動きが巧みになる。

#### ～援助のポイント～

友だちとの関わりは多くなりますが、お互い主張しあってトラブルになることもあります。両方の思いを聞いて代わりに言葉にして、橋渡しをしましょう。

### ⑥おおむね4歳

- 手洗いやうがい、衣服の調節など、生活に必要なことが自分でできるようになる。
- 危険な場所や遊具の安全な使い方がわかる。
- ルールの大切さがわかり、交代や順番待ちができるようになる。
- 仲間とのつながりが強くなるが、競争心からトラブルが起こる事もある。

#### ～援助のポイント～

友だちとのぶつかり合いを経験しながら、少しずつ自分の気持ちを抑えたり、がまんができるようになっていきます。集団での活動を大事にしましょう。

### ⑦おおむね5歳

- 運動機能はますます伸び、喜んで運動遊びをしたり、友達と一緒に活発に遊ぶ。
- 考えや思いを相手にわかるように話すことができる。
- 自分なりに考えて判断したり、批判するようになり、ケンカを自分たちで解決しようとする。
- 身近にある文字や数字に関心を持つようになる。



#### ～援助のポイント～

社会生活に必要な力を身につけていく時期です。  
共通の目的に向かって協力しあい、一緒に作り上げる機会を作りましょう。



## (2)一日の保育の流れ(デイリープログラム)

これを基本に、年齢・発達にあった遊び・運動・食事・睡眠などバランスの良い保育を工夫します。

### ① 0歳児

時間	子どもの活動	保育者の働きかけと配慮事項
7:00	保育はじまり あいさつ	明るい声・表情で挨拶をしましょう。
8:30	健康チェック  遊び おむつ交換	保護者からの連絡、観察した子どもの様子、連絡帳の内容は職員間で共有します。 * 必要に応じ検温をします。(受入対応編参照) 発達にあった玩具を用意しましょう。 子どもの表情を見ながら楽しさを伝えましょう。 子どもの目を見ながら、言葉をかけたり歌いながら優しく丁寧にいきましょう。(P15参照)
9:30	授乳  月齢に応じた活動 (室内・外あそび、散歩)	抱いて、ゆっくり話しかけながら授乳しましょう。 * 授乳後はゲップをさせましょう。 発達に応じた活動をしましょう。(P10参照)
10:30	離乳食(午前食) おむつ交換	個人差が大きいので無理せず、様子を見ながら進めましょう。 食物アレルギー児の配膳・対応には細心の注意をします。 食事のあとは、子どもを観察しましょう。(P14参照) 安心して静かに寝られるよう睡眠環境に配慮しましょう。
11:30	午睡	顔色や呼吸の様子を観察(プレスチェック)し、記録します。 仰向けに寝かせましょう。 睡眠中は子どもから目を離してはいけません。(P13参照)
14:30	目覚め・おむつ交換 授乳・離乳食(午後食)	集中して遊んでいるときは、静かに見守るようにします。
15:30	遊び 検温 おむつ交換・健康チェック 遅番に引継ぎ(連絡)	* 特に乳児は午後から急に体温が上がることもあるので、できるだけ検温をしましょう。
16:30	遊び (順次おかえり)	家庭的な雰囲気の中でお迎えを待てるようにしましょう。 お迎えに来た保護者へ一日の子どもの様子を伝え、明るい声・表情で「さようなら」の挨拶をしましょう。
18:00	延長保育 授乳・離乳食	夜間の保育時間に応じて夕方の食事の提供を行います。 夜間の睡眠については、日中同様子どもから目を離さず事故防止に注意しましょう。

※川口市保育マニュアル受入対応編を「受入対応編」という。以下同様。

## ② 1・2歳児

時間	子どもの活動	保育者の働きかけと配慮事項
7:00	保育はじまり あいさつ	明るい声・表情で挨拶をしましょう。
8:30	健康チェック おむつ交換・トイレ  遊び	保護者からの連絡、観察した子どもの様子、連絡帳の内容は職員間で共有します。 * 必要に応じ検温をします。(受入対応編参照) 色々な玩具を用意し、自分で好きな遊びを見つけられるように環境設定します。
9:30	おむつ交換・トイレ・手洗い おやつ 年齢に応じた活動 (室内・外遊び、散歩) おむつ交換・トイレ	片付けは保育者がやって見せる等、楽しんでできるようにしましょう。 外遊びは、一人一人の行動を把握して危険のないように見守り、安全に注意しましょう。(P10参照) 個人差に合わせ、便器で排泄できるよう援助をし、排泄ができたときはたくさん褒めてあげましょう。
11:00	昼食準備 昼食	楽しい雰囲気喜んで食べられるよう配慮します。 食物アレルギー児の配膳・対応には細心の注意をします。 好き嫌いや量など個人差を把握し、無理のないよう働きかけをします。(P14参照)
12:00	午睡準備 おむつ交換・トイレ	手遊び・紙芝居や絵本を子どもと一緒に楽しみましょう。 安心して静かに寝られるよう睡眠環境を整えましょう。 仰向けに寝かせましょう。
12:30	午睡	顔色や呼吸の様子を観察(プレスチェック)し、記録します。 睡眠中は子どもから目を離してはいけません。(P13参照)
15:00	目覚め おむつ交換・トイレ・手洗い おやつ	心地よい目覚めができるように配慮します。 変化に富んだ楽しいおやつにしましょう。
13:15	健康チェック おかえり 遅番への引継ぎ(連絡)	検温・表情等、子どもの健康状態を確認しましょう。 お迎えの保護者とコミュニケーションを図ります。 怪我をしやすい時間帯なので、安全には十分注意して過ごします。
16:30	遊び (順次おかえり)	家庭的な雰囲気の中で、お迎えを待てるようにしましょう。 お迎えに来た保護者へ一日の子どもの様子を伝え、明るい声・表情で「さようなら」の挨拶をしましょう。
18:00	延長保育 補食(夕食)	夜間の保育時間により、必要に応じ夕食等の提供を行います。 夜間の睡眠については、日中同様子どもから目を離さず事故防止に注意しましょう。

### ③ 3～5歳児

時間	子どもの活動	保育者の働きかけと配慮事項
7:00	保育はじまり あいさつ	明るい声・表情で挨拶をしましょう。
8:30	健康チェック トイレ 遊び	保護者からの連絡、観察した子どもの様子は職員間で共有します。 ＊必要に応じ検温をします。(受入対応編参照) 自分から遊びたいくなるような玩具・遊具を用意し、遊びに誘います。 保育者が一緒に遊んだり、子どもの遊びを見守りましょう。
9:30	トイレ 水分補給 年齢・領域にわたる活動 (室内・外遊び、散歩) トイレ・手洗い	戸外遊びでは、思いっきり元気に体を動かして遊びましょう。 (P10参照) 全員で、協力して片付けができるよう言葉をかけます。 一人一人にあった言葉がけ・介助をし、自立を促します。
11:30	昼食準備 昼食	楽しい雰囲気喜んで食べられるように介助しましょう。 食物アレルギー児の配膳・対応には細心の注意をします。 (P14参照)
12:30	午睡準備 トイレ	個人差を把握し、無理の無いよう働きかけをします。 絵本・紙芝居を見たり、お話や音楽を聞かせる等の落ち着いた時間を持って気持ちを切り替えます。
13:00	午睡	静かに寝られるよう睡眠環境を整えましょう。 顔色や呼吸の様子を観察(プレスチェック)し、記録します。 睡眠中は子どもから目を離してはいけません。(P13参照)
15:00	目覚め・トイレ・手洗い おやつ	ガムやチョコレート菓子は控え、変化に富んだおやつにしましょう。
15:15	健康チェック おかえり	表情、健康状態を確認しましょう。 身支度、忘れ物がないよう言葉をかけます。 いろいろな玩具を設定して、遊びを工夫します。
16:30	遅番への引継ぎ(連絡) 遊び (順次おかえり)	保護者とコミュニケーションを図ります。 怪我をしやすい時間帯なので、安全には十分注意して過ごします。 家庭的な雰囲気の中で、お迎えを待てるようにしましょう。
18:00	延長保育 補食(夕食)	お迎えに来た保護者へ一日の子どもの様子を伝え、明るい声・表情で「さようなら」の挨拶をしましょう。 夜間の保育時間により、必要に応じ夕食等の提供を行います。 夜間の睡眠については、日中同様子どもから目を離さず事故防止に注意しましょう。

### (3)生活と遊び

#### ①遊び

子どもは、遊びを通して、仲間との関係を育み、その中で個々の成長が促されます。

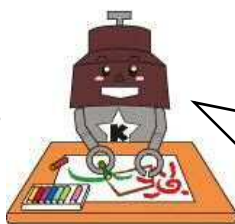
幼い子どもは、大人の仲立ちに助けられながら子どもの世界を広げ、様々な遊びを子ども同士で楽しむようになります。遊びは子どもにとって主体的な活動であり、遊びには人として成長していくためのあらゆる要素が含まれています。友だち同士のやりとりをする中で必要に応じた玩具や遊具を利用し、それぞれが刺激を受けあって成長していきます。

#### <遊びの種類とそのかわり>

	おもちゃと遊び	かわり
0歳児	(園内) ガラガラ・音の出るおもちゃ・型はめ 棒落とし・絵本・手遊び・歌遊び	・人と関わる心地よさを感じるために、職員の温かい言葉かけやスキンシップが大切です。 ・遊ぶことの楽しさを経験できるように、成長発達に応じたさまざまな玩具を用意しましょう。
1・2歳児	(園内) つみき・パズル・ままごと・ブロック ひも通し・絵本 (園外) コンビカー・三輪車・砂場・かけっこ	・一人遊びから関わりをもった遊びへ変化する時期です。 ・子どもたちが安心して遊べる保育環境を作りましょう。
3・4・5歳児	(園内) ブロック・絵本・お絵かき・折り紙・粘土 (園外) 集団遊び(ボール・鬼ごっこ・サッカー)	・子ども同士の関わり合いや協同する遊びを設定しましょう。 ・身近な生活の中にある自然や科学を体験し、更に情・意欲・関心を培います。
全歳児	(園内) 歌・リズム・体育遊び・楽器遊び・手遊び・ごっこ遊び・ルールのある遊び・ペープサート・パネルシアター・紙芝居等 (園外) 散歩・プール遊び・水遊び・泥んこ遊び	・生活の中でいろいろな経験・体験を重ね言葉や数、自分の気持ちを表現する力を養います。 ・周囲の自然に親しみ地域との交流を図ります。 ・水に対する恐怖心を持たないよう配慮し、水遊びの気持ち良さや楽しさを味わえるようにしましょう。 ・園外遊びは五感を刺激し、感性豊かな成長を培います。

#### ～注意するポイント～

- ・年齢にあったおもちゃを使いましょう。
- ・人数に応じたおもちゃの数を用意しましょう。
- ・遊具やおもちゃの安全点検をしましょう。
- ・毎日おもちゃの消毒をしましょう。



<おもちゃの取り合いは、心の成長の証>  
おもちゃを取り合うのは、「これは自分の物」という認識ができるようになった証です。子どものやりとりを見守って危険のないように適切な声かけをしましょう。

## ②散歩

園外に出かける事で、自然に触れながら探索したり、散歩先の公園で身体を動かして活発に遊んだり歩くことで、体力がつかまります。0・1歳児の場合は、お散歩カーやバギーを利用し、歩行が完了したら友だちや先生と手をつないで歩いて出かけます。安全に注意し必ず2人以上の職員で出かけましょう。

### <出発する前に>

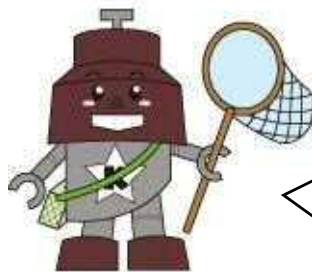
行き先・子どもの人数・引率者等を施設長・主任にしっかりと口頭で伝え、記録に残します。

### <経路の確認>

散歩途中の安全を守るためにお散歩マップの作成をしておきましょう。<参考書式14>

### <散歩に出かけるときは>

水・着替え・タオル・救急用品  
小銭・携帯電話・敷物等を持ちましょう。  
子どもには、紫外線対策や頭部の保護のためにも必ず帽子をかぶせましょう。



### <公園に到着したら>

遊具・公園内の安全点検をします。  
(遊具の異常・危険性、飲料缶ビン、タバコの吸殻、犬のフン等)  
遊ぶ前に子どもたちと公園での約束事を確認してから遊び始めましょう。

### <季節に応じた対応も>

夏は水分補給・冬は防寒に注意しましょう。

### ～注意するポイント～

- ・子どもの人数確認をします。(出発時・公園到着時・遊んでいる時・帰園時)
- ・交通ルール(右側通行・信号や横断歩道を渡る等)をしっかり守り、散歩中は常に周囲に気を配ります。
- ・公園では、子どもから目を離さず、危険のないように見守りましょう。
- ・天候を把握したうえ出かけましょう。

### ③水遊び・プール遊び

プール遊びや水遊びの目的は、水に対する抵抗をなくし、水に慣れることをねらいとしています。水遊びやプール遊びには、思わぬ危険が潜んでいます。子どもたちから目を離さず安全に楽しめるようにしましょう。  
 ※水遊びやプール遊びの対応は、国の通知「保育所、地域型保育事業所及び認可外保育施設においてプール活動・水遊びを行う場合の事故防止について」に基づき行い、安全に実施することが大切です。

#### 遊びのめやす

歳児	形態	遊具	服装
0歳児	沐浴 タライ	ジョウロ・バケツ・船・カップ	紙おむつ・Tシャツ
1・2歳児	ビニールプール 組み立てプール	ジョウロ・バケツ・船・カップ	パンツ(プール用) 水着・Tシャツ
3・4・5歳児	ビニールプール 組み立てプール	宝探し・魚釣り・水鉄砲	水着・水泳帽子 Tシャツまたはラッシュガード

#### ～注意するポイント～

- ・朝の視診や健康チェックは大切です。特に、夏に流行する病気(下記参照)には注意が必要です。
- ・プールに入る前は必ず水質検査を行い、残留塩素濃度が0.4 mg/L から 1.0 mg/L に保たれているか確認しましょう。また、塩素はすぐに揮発してしまうため、プール使用中は 15 分に 1 度、濃度を測定し濃度が低下している場合は消毒剤を追加するなど、適切に消毒しましょう。簡易ミニプール(ビニールプール等)についても塩素消毒が必要です。
- ・入水の目安は、気温＋水温＝50℃以上です。(乳幼児は高めが良い)
- ・プールに入る前は、準備体操をしましょう。
- ・子どもたちの活動中絶対に目を離してはいけません。役割分担を明確にし、監視者を決めましょう。
- ・プール日誌を活用し、適切にプールを管理しましょう。〈参考書式15〉
- ・排泄が自立していない乳幼児は、個別のタライ等を用いて水遊びを行い、他者と水を共有しない。
- ・プール遊びの約束事を作り、子どもたちにしっかり守らせましょう。
- ・紫外線対策、体の保護のために水泳帽子・Tシャツまたはラッシュガードを着用しましょう。
- ・入水の時間は、0歳児約15分、1～5歳児約20～30分が目安です。

#### 夏に流行する病気

プール熱・ヘルパンギーナ・流行性結膜炎(はやり目)・手足口病・とびひ・水いぼ・急性中耳炎・あたまじらみ・熱中症等があります。感染の疑いがある子どもの保護者には、かかりつけ医の指示に従うよう指導しましょう。また必要に応じ他の保護者へ周知しましょう。

※ 病気とその症状については、「保育所における感染症対策ガイドライン」を参考にし、適切な対応を心がけましょう。

## (4)午睡

保育施設で長時間過ごす子どもにとって、午睡は生活のリズムの重要な構成要素です。年齢や発達、家庭での生活や保育の時間などを考慮して、心身の疲労を癒したり、緊張を緩和したり、心身共に健康に過ごすために適切な休息をとらせましょう。

### <睡眠時間を知ましょう>

子どもが一日に必要な睡眠時間は以下のとおりです。

0～1か月 16～18時間

1～3か月 14～15時間

3～6か月 13～14時間

6～12か月 13～14時間

1～3歳 12～14時間

4～6歳 10～13時間

夜と昼の睡眠をうまく調節し、夜の睡眠時間の不足分を補うために、昼寝をさせてあげましょう。

### <環境を整えましょう>

睡眠時間以外に、環境づくりも大切です。以下の点に配慮し、快適な環境を作りましょう。

・直接日光や冷暖房の風が当たらない場所で、保育者から常に見える位置に配置しましょう。また、同一のベッド(布団)に2人以上の乳幼児を寝かせないこと。

・布団は硬めのものを使用し、ぬいぐるみや掛けもの等が顔に掛からないように注意しましょう。

・ひもなどで首が絞められたり、ベッドの隙間などに挟まれないように注意しましょう。



### ～注意するポイント～

乳児突然死症候群の予防のために

・睡眠時は仰向けに寝かせることが重要です。うつ伏せで寝ついたり、寝返りをしてうつ伏せになった時は、医学的な理由で医師からうつぶせ寝をすすめられている場合を除き仰向けにしましょう。

・睡眠中は顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察し、ブレスチェック表に記録をします。

(ブレスチェックの時間 0歳児5分毎、1歳児10分毎、2歳児15分毎) <参考書式16～19>

なお、6か月未満の乳児の睡眠中にあっては、5分毎のブレスチェックに加えて、呼吸モニター等の無呼吸状態を感知する機器を活用することで早期に子どもの呼吸の異変を発見することができます。

・万が一、子どもの異常に気づいた時は、適切な応急手当・救命処置をします。そのためには、定期的に救命講習を受けることが重要です。

## (5)食育

保育施設は一日の大半を過ごすところであり、食事の意味は大きいです。食事は空腹を満たすだけでなく、人間的な信頼関係の基礎を作る営みでもあります。

子どもが身近な大人の援助を受けながら、他の子どもとの関わりを通して豊かな食の体験を積み重ね、楽しく食べる事を通して食への関心を育み、食を営む基礎を培う「食育」を実現していくことが大切です。

乳幼児の栄養量・嗜好を踏まえ変化のある献立表を作成し、美味しい食事を提供しましょう。

### <離乳食>

- ・子どもにとっては初めての食事です。
- ・個々に応じた形状・硬さ・味付け・工夫が必要です。
- ・個別の食器を使用しましょう。
- ・\*家庭で食べたことがあるものを提供しましょう。

### <ミルク>

- ・個々の哺乳瓶を使用しましょう。
- ・温度を確認しましょう。
- ・月齢等、個々にあった量を提供しましょう。
- ・ミルク後はゲップをさせてあげましょう。



### <食事>

- ・楽しい雰囲気の中で食事をしましょう。
- ・個別の食器を使用します。
- ・給食が弁当の場合は、冷蔵庫や電子レンジ等を使用し、適切な管理をしましょう。

### <食物アレルギー児の対応>

- ・アレルギー食は別トレーで配膳しましょう。
- ・通常の食事の子どもとは別のテーブルで食事をしましょう。
- ・食事の提供は複数の目で確認しましょう。
- ・万が一、誤食した際は、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」に沿って適切な対応をします。

### ～注意するポイント～

- ・調理する人・配膳する人は専用のエプロン・三角巾を着用し、衛生管理を徹底します。
- ・食器や哺乳瓶はその都度よく洗い煮沸消毒を行います。
- ・食品の管理にあたっては、冷蔵庫を使用する等衛生上の配慮をします。
- ・食後は、子どもの状態を良く観察し、注意しましょう。
- ・特に忙しい食事の前後においては、保育を優先し子どもから目を離さないようにしましょう。



## (6)健康

心身共に健康に過ごせるよう、日々の子どもの健康管理を行うことが必要です。

毎日、健康観察を行い快適に安定した生活リズムをつくり、手洗い・うがい・着替え等の基本的な習慣を身につけられるように援助します。また、施設内を衛生的に保つことも子どもの健康にとって大切なことです。

### <健康診断>

- ・子どもの健康診断は施設利用開始時及び年に2回実施します。
- ・既往歴及び予防接種の確認をしましょう。
- ・身体測定等を定期的に行い発達の状態を把握します。

### <感染症予防>

- ・こまめに手洗い・うがいをするように習慣付けましょう。
- ・早期発見・早期対応が大切です。
- ・歯ブラシ・コップ・タオル等共有せず、一人一人の物を使用します。
- ・感染症への対応は、「保育所における感染症ガイドライン」に基づいて対応してください。

### <与薬について>

- ・与薬は、医師の指示により保護者からの依頼があった場合のみ行います。
- ・予約の依頼は、「与薬依頼書」<参考書式20>等の書面により行いましょう。
- ・薬剤情報等は複数の目で確認し、適正に与薬することが重要です。



### <検温のポイント>

- ・汗をふき、下着などに触れないよう、脇の中央部に下から突き上げるイメージで体温計をあてて測定しましょう。
- ・電子体温計は予測検温ですが、実測値の測定が可能です。取り扱い説明書をよく読んで正しく測定しましょう。

### <おむつ交換について>

- ・おむつ交換はシート等を敷いて行いましょう。
- ・食後(授乳後)や目覚めた時など生活の節目を中心に必要に応じて個々に交換し、常に清潔な状態にしてあげましょう。
- ・便のときは、感染予防のために必ず使い捨ての手袋を使用しましょう。
- ・健康チェックのために、便の状態を確認しましょう。
- ・下痢の際は、感染予防に十分な配慮が必要です。

## (7)安全

子どもたちが健全に発達していくために、一人一人を十分に理解し、環境を整備することが必要です。

いつ、どこでも事故が生じる可能性があることを念頭において、職員全員で事故予防に取り組まなければなりません。

※施設の安全確保については、「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応の為のガイドライン」を参考に、職員全員が対応出来るように徹底しましょう。

### <ヒヤリハットと怪我・事故>

・「ヒヤリハット」は、ヒヤッ・ハッとした事例について、内容を記録し、それを職員で情報共有することで事故の予防につなげるものです。

・怪我・事故が発生した場合は、適切な処置、必要に応じ受診、丁寧な保護者対応が大切です。そして、職員で原因を究明し、再発防止に努めます。

・死亡事故・治療に要する期間が30日以上を負傷や疾病を伴う重篤な事故等が発生した場合は、上記のガイドラインに沿って対応しなければいけません。



### <避難訓練>

- ・地震や火災、不審者、その他の緊急時を想定して避難訓練を計画し、月に1回実施し、記録します。
- ・消火器の使い方や通報の仕方は、職員全員が理解しておきましょう。

### <緊急時に備えた事前準備>

緊急時に備え、以下のものを整備しておきましょう。

- ・保護者の緊急連絡先一覧表
- ・関係機関の連絡先一覧
- ・避難持ち出し袋
- ・災害備蓄品(ランタン・水・ミルク・缶詰・乾パン等)

### <不審者対応の訓練>

不審者が保育施設に侵入してきた時の合言葉や対応の分担等職員で周知し、非常通報設備の確認をし、児童の安全を確保する体制を整えましょう。

～注意するポイント～

#### 保育環境

- ・書庫・棚の転倒・落下防止・危険な場所の保護・施錠等の安全対策をおきましょう。
- ・すぐに避難ができよう、避難路は常に確保しておきましょう。

#### 緊急連絡体制の整備

- ・保育中に異常が発生した場合、保護者にいち早く連絡ができるよう連絡先を整備し、職員全員がすぐに確認できるようにしておくことが重要です。

## 4 保護者支援・地域子育て支援

保育施設が、子どもの様子を細やかに伝え、成長の喜びを共有することで、保護者は子育てを楽しみ、わが子を愛おしいと思う気持ち(親心)を育てていくことができます。

相互の信頼関係を基に保護者のおかれている状況やその思いを受け止め、相談や助言に応じ、丁寧な支援に努めましょう。

### 〈保護者に対する支援〉

育児相談・助言・指導	子育てに関する相談や助言にあたっては、保護者の気持ちを受け止め、保育の専門知識を活かし適切な対応をしましょう。
特別な配慮や支援を必要とした場合	子どもの障害等の心配や養育上の不安があった場合は、児童相談所・市の子育て相談課等さまざまな関連機関と連携をとり、対応しましょう。
その他の支援	保護者の要望や意向に対しては、必要に応じ個別の支援に努めましょう。 子育ての悩みを一人で抱え込まないよう、保護者懇談会等により保護者同士の交流の場を設けることも有効です。 外国籍・慢性疾患のある子どもと保護者については、個別的な支援が必要です。
個人情報の取り扱い	保護者や子どものプライバシーの尊重、秘密保持の原則を厳守します。 職務上知り得た個人情報は、外部にもらしてはいけません。

### 〈地域における子育て支援〉

子育ての拠点として保育施設の機能を活かしていく	地域の保護者等に対する子育て支援
地域家庭への保育サービス	一時預かり

### その他

保育施設から「月ごとのおたより」「保健だより」「献立表」等の配布や掲示、川口市からのお知らせ等の掲示を行い、保護者に保育運営への関心を持ってもらいましょう。

保育施設と保護者や地域が話し合い、互いの気持ちを認め合い、地域全体で子どもを育てる環境づくりに努める事が大切です。

## 5 職員の資質向上

保育施設は、子どもの人間形成にとって極めて重要な時期に、養護・教育に深くかかわる大切な役割を担っています。さまざまな知識と技術及び適切な判断を必要とする専門的な仕事である事を認識して保育にあたらなければなりません。

### <施設長等に求められること>

施設長の責務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、保育施設を取り巻く社会情勢を踏まえ、施設長としての専門性等の向上に努めなければなりません。</li> <li>・自己評価等を踏まえ、協力して改善に努めることができる体制作り</li> <li>・職員の自己研鑽に対する援助・助言</li> <li>・保護者支援・苦情解決</li> </ul>
保育者の職務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所保育指針の理解</li> <li>・職員同士の信頼関係、保護者との信頼関係を築く。</li> <li>・子どもに寄り添った、優しく丁寧な応答的な保育</li> </ul>
資質向上の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門知識及び技術の習得のための研修参加</li> <li>・職場内研修</li> <li>・保育指針を理解する機会を設ける等保育者の質の向上に努める。</li> </ul>



### 参考書籍等

- ・保育所保育指針(平成29年厚生労働省告示)
- ・保育所における感染症ガイドライン(厚生労働省平成30年3月)
- ・保育所におけるアレルギー対応ガイドライン(厚生労働省平成31年4月)
- ・教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン(平成28年3月)
- ・保育所、地域型保育事業所及び認可外保育施設においてプール活動・水遊びを行う場合の事故防止について(厚生労働省平成29年6月通知)

令和 年度		保育所		全体的な計画			
保育理念		児童福祉法に基づき、子ども一人ひとりの育ちを大切にし、保護者からも信頼され、地域との触れ合いや支援を目指す。					
保育方針		心身ともにすこやかな子ども	保育目標	じょうぶなからだ ・ 豊かなこころ ・ 仲よくあそぶ		☆幼児期までに育ってほしい10の項目	
☆保育所保育に関する基本原理 児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、健全な心身の発達を図る。保育所保育指針に基づき、養護及び教育を一体的に行なう。地域との連携を図る。		☆保育時間など 2・3号認定/基本保育時間 7:00～18:00 保育短時間 8:30～16:30 延長保育時間 18:00～19:00		☆主な行事 入所式・保育懇談会・プール開き・プール納め・運動会・遠足・公開保育・お楽しみ会・保育参観修了式・他季節の行事		・健康な心と体 ・自立心 ・共同性 ・道徳性・規範意識の芽生え ・社会生活との関わり ・思考力の芽生え ・自然との関わり・生命尊重 ・数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ・言葉による伝え合い ・豊かな感性と表現	
保 育 内 容							
		乳児	1歳児(満1歳より)	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
保 育 目 標							
養 護	生命の保持		生命の保持				
	情緒の安定		情緒の安定				
教 育 及 び 保 育	健やかに伸び伸びと育つ		健康				
			人間関係				
	身近な人と気持ちがあいあう		環境				
			言葉				
	身近なものとの関わり感性が育つ		表現				
食 育	食を営む力の基礎		食育				
健康支援 保健計画別紙					社会的責任	人権に配慮する。児童の個人を尊重し、保育を行う。保育の内容等においても保護者に理解出来るよう説明を行なう。地域との連携を積極的におこない、交流をもつ。保育所の行事等の説明をおこない、理解を得る。個人情報の管理を行い、必要に応じて保護者の同意を得る。所長は苦情対応し解決に向けて対応する。	
環境・衛生管理					職員の質の向上 研修計画		
災害・安全対策 事故防止 避難訓練計画別紙					小学校との連携		
保護者・地域 への支援					自己評価		

令和 年度 保育所 年間指導計画(0歳児) _____ 組		所長印	主任印	担任印	
年間目標		健康安全 災害		年間の 自己評価	
年間区分	I 期(4月～5月)	II 期(6月～8月)	III 期(9月～12月)	IV 期(1月～3月)	
ねらい					
月齢・年齢	～6か月未満	6か月～9か月未満	9か月～12か月未満	1歳～1歳6か月未満	1歳6か月～2歳未満
子どもの姿					
養護	生命の保持 情緒の安定				
	健やかに 伸び伸びと 育つ 身近な人と 気持ちがあ 通じ合う 身近なもの と 関わり 感性が育つ			健康 人間関 係 環境 言語 表現	
環境構成					
食育					
子育て支援 (保護者支 援)					

歳児 組

令和 年度		保育所		年間指導計画(1・2歳児)		所長印	主任印	担任印	
年間目標				健康 安全 災害			年間の 自己評価		
年間区分	Ⅰ期(4月～5月)		Ⅱ期(6月～8月)		Ⅲ期(9月～12月)		Ⅳ期(1月～3月)		
ねらい									
養護	生命の保持								
	情緒の安定								
教育	健康								
	人間関係								
	環境								
	言語								
	表現								
援助・配慮 (環境構成)									
食育									
子育て支援 (保護者支援)									

令和 年度 保育所		年間指導計画(3・4歳児)				歳児 組		
						所長印	主任印	担任印
年間目標		健康 安全 災害		年間の 自己評価				
年間区分	I 期(4月～5月)		II 期(6月～8月)		III 期(9月～12月)		IV 期(1月～3月)	
ねらい								
養護	生命							
	情緒							
教育	健康							
	人間関係							
	環境							
	言葉							
	表現							
援助・配慮 (環境構成)								
食育								
子育て支援 (保護者支援)								



歳児 組

所長印	主任印	担任印
-----	-----	-----

令和 年度 保育所 年間指導計画(5歳児)

年間目標		幼児期の終わりに までに 育て欲しい姿	○健康な心と体 ○自立心○協同性 ○道徳性・規範意識の芽生え○社会生活との関わり ○思考力の芽生え○自然との関わり・生命尊重 ○数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ○言葉による伝え合い ○豊かな感性と表現	小学校との連携
年間区分	I 期(4月～5月)	II 期(6月～8月)	III 期(9月～12月)	IV 期(1月～3月)
ねらい				
養護	生命			
	情緒			
教育	健康			
	人間関係			
	環境			
	言葉			
	表現			
援助・配慮 (環境構成)				
食育				
健康・安全・災害				
子育て支援 (保護者支援)			年間の自己評価	



令和		年度	保育所	月	指導計画(1・2歳児)	歳児			組
						所長印	主任印	担任印	
月のねらい			行事			保護者支援・連携			
子どもの姿									
		内 容		環境・構成		配慮事項			
養護	生命								
	情緒								
教育	健康								
	人間関係								
	環境								
	言語								
	表現								
食育									
健康 災害・安全				保育に対する 自己評価					

令和		年度	保育所	月	指導計画(3・4歳児)	歳児			組
						所長印	主任印	担任印	
月のねらい			行事			保護者支援・連携			
子どもの姿									
		内 容	環境・構成		配慮事項				
養護	生命の保持								
	情緒の安定								
教育	健康								
	人間関係								
	環境								
	言語								
	表現								
食育									
健康・安全 災害									
個別配慮				保育に対する 自己評価					

令和      年度      保育所		月      指導計画(5歳児)		所長印	主任印	担任印
月のねらい		行事		幼児期の終わりまでに育て欲しい姿について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康な心と体    ○自立心</li> <li>○共同性    ○道徳性・規範意識の芽生え</li> <li>○社会生活との関わり</li> <li>○思考力の芽生え</li> <li>○自然との関わり・生命尊重</li> <li>○数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</li> <li>○言葉による伝え合い</li> <li>○豊かな感性と表現</li> </ul>	
子どもの姿						
内      容		環 境 ・ 構 成		配 慮 事 項		
養 護	生命の保持					
	情緒の安定					
教 育	健康					
	人間関係					
	環境					
	言語  表現					
食育			子育て支援 (保護者支援)			
健康・安全 災害			個別配慮			
小学校との連携			保育に対する 自己評価			

令和

年度

保育所

月個別指導計画

歳児

組

名 前	個 別 配 慮
歳      ヶ月	
歳      ヶ月	
歳      ヶ月	
歳      ヶ月	
歳      ヶ月	
歳      ヶ月	
歳      ヶ月	
歳      ヶ月	
歳      ヶ月	
歳      ヶ月	
歳      ヶ月	
歳      ヶ月	

令和 年度 保育所 月個別指導計画(1・2歳児)

歳児 組

名 前	個 別 配 慮
歳 月	
歳 月	
歳 月	
歳 月	
歳 月	
歳 月	
歳 月	
歳 月	
歳 月	
歳 月	
歳 月	
歳 月	

令和 年度

月の週案（0～2歳児）

保育所

組

〈参考書式 1 1〉

今月の目標						
	第1週( 日～ 日)	第2週( 日～ 日)	第3週( 日～ 日)	第4週( 日～ 日)	第5週( 日～ 日)	
ねらい						
援助及び配慮						
活動						
評価・反省						



## 一日の保育

時間	0歳児の活動	時間	1・2歳児の活動	時間	3歳以上児の活動

## 一 日 の 保 育

時間	0歳児の活動	時間	1・2歳児の活動	時間	3歳以上児の活動
7:00	保育はじまり あいさつ	7:00	保育はじまり あいさつ	7:00	保育はじまり あいさつ
8:30	健康チェック  遊び	8:30	健康チェック おむつ交換・トイレ  遊び	8:30	健康チェック トイレ  遊び
9:30	授乳 月齢に応じた活動 (室内・外遊び・散歩)	9:30	おむつ交換・トイレ 手洗い おやつ 年齢に応じた活動 (室内・外遊び・散歩)	9:30	トイレ 水分補給 年齢・領域にわたる活動 (室内・外遊び・散歩)
10:30	離乳食(午前食)	11:00	おむつ交換・トイレ 昼食準備 昼食	11:30	トイレ・手洗い  昼食準備 トイレ
11:30	おむつ交換 おひるね	12:30	おひるね準備 おむつ交換・トイレ おひるね	13:00	おひるね
14:30	目覚め・おむつ交換 授乳・離乳食(午前食)	15:00	目覚め おむつ交換・トイレ 手洗い	15:00	目覚め・トイレ 手洗い
15:30	遊び 検温	15:15	おやつ 健康チェック おかえり	15:15	おやつ 健康チェック おかえり
16:30	遅番に引継ぎ(連絡) 遊び (順次おかえり)	16:30	遅番への引継ぎ(連絡) 遊び (順次おかえり)	16:30	遅番への引継ぎ(連絡) 遊び (順次おかえり)
18:00	延長保育	18:00	延長保育	18:00	延長保育





散歩計画表

日にち 曜日	天候	クラス	* 散歩の経路・目的地	出発(予定)	帰園(予定)	子どもの 人数	引率者	* 持ち物 携帯電話他	備考 (注意事項・気づき等)	確認者 (所長印)
			ねらい	出発(実績)	帰園(実績)			○ (下記持ち物確認)		
7/10 (水)	晴	ぱんだ組	①○○公園 交通ルール守る	10:00 10:15	11:00 11:10	25	○○ ○○	○ (下記持ち物確認)	遊具危険箇所あり	
/		組		:	:					
( )				:	:					
/		組		:	:					
( )				:	:					
/		組		:	:					
( )				:	:					
/		組		:	:					
( )				:	:					
/		組		:	:					
( )				:	:					
/		組		:	:					
( )				:	:					
/		組		:	:					
( )				:	:					
/		組		:	:					
( )				:	:					
/		組		:	:					
( )				:	:					
/		組		:	:					
( )				:	:					
/		組		:	:					
( )				:	:					
/		組		:	:					
( )				:	:					
/		組		:	:					
( )				:	:					

\*散歩経路・・・園が作成しているお散歩マップに①～番号をつけ該当するルートの番号記載する。

\*持ち物・・・リュックサック(救急用品・テッシュ・タオル・濡れタオル・筆記用具・ビニール袋・着替え上下(おむつ)・おしりナップ)  
携帯電話・ホイッスル・横断旗・その他必要とする物

<参考書式15>

プール日誌 3才～5才						
		年	月	日(曜日)	天気	
利用時間		時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
クラス名						
指導者氏名						
監視者氏名						
入水人数		人	人	人	人	人
気温		℃	℃	℃	℃	℃
水温		℃	℃	℃	℃	℃
残留塩素測定 プール遊び開始前		mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
消毒剤追加時間		時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
追加後の値		mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
プール水位		cm	cm	cm	cm	cm
備考 (見学者等)						

プール日誌 0才～2才						
		年	月	日(曜日)	天気	
利用時間		時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
クラス名						
指導者氏名						
監視者氏名						
入水人数		人	人	人	人	人
気温		℃	℃	℃	℃	℃
水温		℃	℃	℃	℃	℃
残留塩素測定 プール遊び開始前		mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
消毒剤追加時間		時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
追加後の値		mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
プール水位		cm	cm	cm	cm	cm
備考 (見学者等)						

## 0歳児 プレスチェック表

5分毎にプレスチェックを行い、記録する。保育室には必ず職員が在室する。

令和 年 月 日 ( )  
午後 時 分 天気: 室温: °C 湿度: %

名 前	睡 眠												備 考	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
確認者														

※確認者が分かるように色別で記入する。※うつ伏せから仰向けに直した時は、表にチェック(レ点)を記入する。※備考欄には、体調(咳・発熱等)を記入する。

0歳児 プレスチェック表  
 5分毎にプレスチェックを行い、記録する。保育室には必ず職員が在室する。

<記入例>

令和 2年 7月 1日(水)

午後 1 時 00 分 天気:晴れ 室温:27.5℃ 湿度:50%

参考書式 16-2

名 前	睡 眠													備 考
田中 みどり	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	うつ伏せ寝になりやすいので注意する
斉藤 健	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	14:10発熱38.5℃
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
確認者	川口 山田 田中													

※確認者が分かるように色別で記入する。※うつ伏せから仰向けに直した時は、表にチェック(レ点)を記入する。※備考欄には、体調(咳・発熱等)を記入する。



# 1歳児 プレスチェック表

10分毎にプレスチェックを行い、記録する。保育室には必ず職員が在室する。

令和 年 月 日( )

午後 時 分 天気: 室温: °C 湿度: %

名 前	睡 眠												備 考	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
確認者														

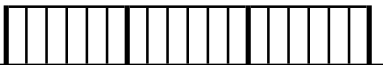







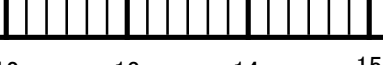

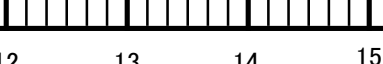

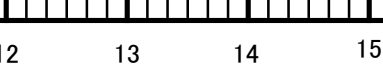

※確認者が分かるように色別で記入する。うつ伏せから仰向けに直した時は、表にチェック（レ点）を記入する。※備考欄には、体調（咳・発熱等）を記入する。

## 1歳児 プレスチェック表

10分毎にプレスチェックを行い、記録する。保育室には必ず職員が在室する。

令和 年 月 日 ( )

午後 時 分 天気: 室温: °C 湿度: %

名 前	睡 眠	備 考	名 前	睡 眠	備 考
	12 13 14 15 			12 13 14 15 	
	12 13 14 15 			12 13 14 15 	
	12 13 14 15 			12 13 14 15 	
	12 13 14 15 			12 13 14 15 	
	12 13 14 15 			12 13 14 15 	
	12 13 14 15 			12 13 14 15 	
	12 13 14 15 			12 13 14 15 	
確認者					

※確認者が分かるように色別で記入する。 ※うつ伏せから仰向けに直した時は、表にチェック(レ点)を記入する。 ※備考欄には、体調(咳・発熱等)を記入する。

## 1歳児 プレスチェック表

10分毎にプレスチェックを行い、記録する。保育室には必ず職員が在室する。

## ＜記入例＞

令和 2年 7月 1日(火)

午後 12 時 40 分 天気: 室温: °C 湿度: %

名 前	睡 眠	備 考
川口 花子	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
川口 太郎	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	14:20 発熱38°C
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
確認者	川口 山田 田中	

名 前	睡 眠	備 考
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <span>12</span><span>13</span><span>14</span><span>15</span> </div>	

※確認者が分かるように色別で記入する。 ※うつ伏せから仰向けに直した時は、表にチェック(レ点)を記入する。 ※備考欄には、体調(咳・発熱等)を記入する。



# 2歳児 プレスチェック表

令和 年 月 日 ( )

15分毎にプレスチェックを行い、記録をする。保育室には必ず職員が在室する。午後 時 分 天気: 室温: °C湿度 %

名 前		名 前		名 前	
	12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考
	12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考
	12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考
確認者名					

平成 年 月 日 ( )

午後 時 分 天気: 室温: °C湿度: %

名 前		名 前		名 前	
	12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考
	12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考
	12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考
	12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考		12 13 14 15                                 備考
確認者名					

※確認者が分かるように色別で記入する。 ※うつ伏せから仰向けに直した時には、表にチェック(レ点)を記入する。 ※備考欄には、体調(咳・発熱等)を記入する。

## 2歳児 ブレスチェック表

令和 2 年 7 月 1 日 ( 火 )

15分毎にブレスチェックを行い、記録をする。保育室には必ず職員が在室する。 午後1時 天気: はれ 室温: 27℃湿度 47%

名 前	名 前	名 前	名 前
川口 花子			
川口 太郎			
確認者名	山田 佐藤 吉田		

※確認者が分かるように色別で記入する。 ※うつ伏せから仰向けに直した時には、表にチェック(レ点)を記入する。 ※備考欄には、体調(咳・発熱等)を記入する。

## 2歳児 プレスチェック表

15分毎にプレスチェックを行い、記録をする。保育室には必ず職員が在室する。

令和 年 月 日( )

令和 年 月 日( )

午後 時 分 天気: 室温: °C 湿度 %

午後 時 分 天気: 室温: °C 湿度 %

名 前		12	13	14	15
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
確認者名					

名 前		12	13	14	15
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
	備考				
確認者名					

※確認者が分かるように色別で記入する。  
 ※うつ伏せから仰向けに直した時には、表にチェック(レ点)を記入する。  
 ※備考欄には、体調(咳・発熱等)を記入する。

## 2歳児 プレスチェック表

15分毎にプレスチェックを行い、記録をする。保育室には必ず職員が在室する。

令和 年 月 日( )

午後 時 分 天気: 室温: °C 湿度 %

名 前		名 前	
	12 13 14 15		12 13 14 15
	備考		備考
	12 13 14 15		12 13 14 15
	備考		備考
	12 13 14 15		12 13 14 15
	備考		備考
	12 13 14 15		12 13 14 15
	備考		備考
	12 13 14 15		12 13 14 15
	備考		備考
	12 13 14 15		12 13 14 15
	備考		備考
	12 13 14 15		12 13 14 15
	備考		備考
	12 13 14 15		12 13 14 15
	備考		備考
	12 13 14 15		12 13 14 15
	備考		備考
	12 13 14 15		12 13 14 15
	備考		備考
	12 13 14 15		12 13 14 15
	備考		備考
	12 13 14 15		12 13 14 15
	備考		備考
確認者			

※観察者が分かるように色別で記入する。  
 ※うつ伏せから仰向けに直した時には、表にチェック(レ点)を記入する。  
 ※備考欄には、体調(咳・発熱等)を記入する。





### 3.4.5歳児 午睡時安全確認表 ( 組)

※健康状態（咳・発熱等）を記入する。※保育室には必ず職員が在室する。午後 時 分 天気： 室温： ℃ 湿度 %

日	確認者	時間・特記事項	確認者	時間・特記事項
		時 ~ 時		時 ~ 時
		特記事項 無・有 ( )		特記事項 無・有 ( )
		時 ~ 時		時 ~ 時
		特記事項 無・有 ( )		特記事項 無・有 ( )
		時 ~ 時		時 ~ 時
		特記事項 無・有 ( )		特記事項 無・有 ( )
		時 ~ 時		時 ~ 時
		特記事項 無・有 ( )		特記事項 無・有 ( )
		時 ~ 時		時 ~ 時
		特記事項 無・有 ( )		特記事項 無・有 ( )

### 3.4.5歳児 午睡時安全確認表 (たんぽぽ組)

<記入例>

※健康状態(咳・発熱等)を記入する。※保育室には必ず職員が在室する。

午後 1 時 00 分 天気: 室温: °C 湿度 %

日	確認者	時間・特記事項	確認者	時間・特記事項
7/1 (水)	川口	13時 ~ 14時	山田	14時 ~ 15時
		特記事項 <input checked="" type="radio"/> 無・有 ( )		特記事項 無 <input checked="" type="radio"/> 有 ( 花子ちゃん咳き込みあり )
		時 ~ 時		時 ~ 時
		特記事項 無・有 ( )		特記事項 無・有 ( )
		時 ~ 時		時 ~ 時
		特記事項 無・有 ( )		特記事項 無・有 ( )
		時 ~ 時		時 ~ 時
		特記事項 無・有 ( )		特記事項 無・有 ( )
		時 ~ 時		時 ~ 時
		特記事項 無・有 ( )		特記事項 無・有 ( )

# 与薬依頼書

保育所長様

医師の指示により、保育時間中における与薬が必要となりましたので、下記のとおり与薬を依頼します。

平成 年 月 日

依頼者（保護者）氏名 \_\_\_\_\_

電話 ( )

児童氏名	( 組 )
医療機関名	
	担当医： 電話：
病名	
依頼期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日 ※依頼期間は内服薬の場合のみ記入してください。
薬の種類	粉薬・水薬（シロップ）・錠剤・点眼・軟膏 その他 ( )
薬の内容	抗生物質・咳止め・風邪薬 その他 ( )
保管方法	室温・冷蔵庫・その他 ( )
与薬時間	食前・食後・食間 ( ) その他 ( )
与薬方法	
注意事項	

※薬剤情報提供書やおくすり手帳のコピーなどを添付してください。

※薬は1回分ずつに分けて、当日分のみ持参してください。

※薬の袋や容器には、お子さまの名前を必ず記入してください。

保育所記入欄

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

保育所記入欄

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

※与薬依頼が7日以上である場合に、本用紙を使用すること

保育所記入欄

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

保育所記入欄

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

※与薬依頼が7日以上である場合に、本用紙を使用すること

※与薬依頼が7日以上である場合に、本用紙を使用すること

【記入例】

与薬依頼書

保育所長様

医師の指示により、保育時間中における与薬が必要となりましたので、下記のとおり与薬を依頼します。

令和元年8月21日

依頼者（保護者）氏名 川口 ○○

電話 090 (xxxx) xxxx

児童氏名	川口 △△ ( ひよこ 組 )
医療機関名	☆☆☆小児科病院
	担当医：渡部 電話：048-280-xxxx
病名	溶連菌感染症
依頼期間	令和元年8月22日～令和元年8月29日 ※依頼期間は内服薬の場合のみ記入してください。
薬の種類	粉薬・水薬（シロップ）・錠剤・点眼・軟膏 その他（ ）
薬の内容	抗生物質・咳止め・風邪薬 その他（ ）
保管方法	室温・冷蔵庫・その他（ ）
与薬時間	食前・食後・食間（ ） その他（ ）
与薬方法	少量の水に溶かして飲ませる
注意事項	

※薬剤情報提供書やおくすり手帳のコピーなどを添付してください。

※薬は1回分ずつに分けて、当日分のみ持参してください。

※薬の袋や容器には、お子さんの名前を必ず記入してください。

保育所記入欄

受領日							
受領者							
与薬者							
与薬時間							

[薬の持参方法]

以下のようにして、チャック付き袋にクラス名と名前（フルネーム）を記入し、チャック付き袋に必要書類を入れて、職員に直接お渡しください。

チャック付き袋

例) ゆりぐみ  
かわぐち さくら

以下の(1)～(3)を袋に入れる。

(1) 与薬依頼書

(2) 薬の種類や内容が記載されている書類（薬剤情報書）のコピー

(3) 薬（一回分）

※ 薬の袋や容器にもクラス名と名前（フルネーム）を記入。